



京都市防災まちづくり活動団体 認定第 1 号

# 先行して取り組んでいる 六原学区 を視察！

9月5日(土)、いち早く防災まちづくりに取り組んでいる六原学区(東山区)に視察に伺い、意見交換会を行いました。

六原学区では、平成24年度からの3年間、地域住民とともに、防災まちづくり会議や防災まちあるきを重ねて課題を洗い出し、解決策を丁寧に話し合って、「防災まちづくり計画」を策定しました。現在も継続的に防災課題の見直しをしながら、子どもの防災意識を高めるための防災すごろくをはじめ、さまざまな工夫のもと、活動を継続しています。

効果的だったのは、六原まちづくり委員会(防災まちづくり部会)の発足、そして、計画策定の取り組みと並行して行った安全なまちづくりの実現。「緊急避難扉の設置」や「トンネル路地の耐震・防火改修工事」など、目に見える成果が早い時期に実現したことで、防災まちづくりの機運が高まったとのこと。

「住民が、安全、安心でよかった、これからも住みつづけたいと思うまちをめざしている」との目標は、栗田学区も同様だと思いますとの話しなど、地域へのやさしい想いと熱意が印象的でした。



六原学区の役員のみなさまのご案内のもと  
防災まちづくりの取り組み現場を見学



体制づくり、住民への周知、安全なまちの実現に向けた話し合いなど多岐に渡り意見交換

## 六原学区での「防災まちづくりの取組」



**緊急避難扉の設置**  
袋路の2方向避難のために、緊急時避難扉を設置。いざという時にはこの赤い扉から逃げられます！



**トンネル路地の耐震・防火改修工事**  
路地の入口がトンネル状になっているところでは、地震で崩れると逃げられません。耐震補強し、唯一の避難路の安全性を高まりました。



**路地銘板の設置**  
愛着をもってもらうために銘板を路地に設置。〇〇路地は袋路、〇〇小路は通り抜け可能な路地



**わかりやすいマップや防災すごろくの作成**  
お年寄りにも見やすい防災マップや子どもの関心を高める防災すごろくを作成し、各世帯に配布



**第2回 防災まちあるき**  
日時 11月29日(日) 9時～12時(小雨決行)  
集合 プレハブ会館1階(栗田小学校裏)

※参加費：無料  
※申込：京都市防災まちづくり協議会事務局 TEL:075-752-3123  
※お問い合わせ：白川まちづくり協議会事務局 TEL:075-752-3123

## 次回告知

第2回防災まちあるきを以下の日程、内容で開催します。ぜひ、ご参加ください。

問い合わせ：白川まちづくり協議会事務局 TEL:075-752-3123

**11月29日(日) 9:00~**  
集合場所：プレハブ会館

第2ブロック/夷町、西町、堀池町、柚之木・定法寺町  
第5ブロック/大井手町、今小路町、石泉院町  
東姉小路町、分木町、西海子町

# 栗田学区

発行：栗田自治連合会・栗田自主防災会・白川まちづくり協議会  
協力：京都市都市計画局 まち再生・創造推進室 公益財団法人 京都市景観・まちづくりセンター

第1号  
令和2年  
10月発行

# 防災まちづくりニュース

栗田学区での「防災まちづくり」がスタートしました。栗田自治連合会、栗田自主防災会、白川まちづくり協議会と行政、まちセン、専門家などが連携し、2～3年かけて、安全なまちづくりに取り組みます。

当学区は、幅の狭い道路や袋路(行き止まり路地)が多く、地震などの災害時に危険な「密集市街地」に指定されていて、災害時に建物の倒壊などにより、救助や避難に時間がかかったり、広い範囲に火が燃え広がるなど、大きな被害が生じることが懸念されます。

安全で安心できるまちづくりに向けて、住民の皆さんと一緒に取り組んでいきたいと思いますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いします。



## 防災まちづくりの取組

**課題と資源を知る**



**解決策を話し合う**



**安全なまちづくりに取り組む**



① 防災まちあるき

学区内を歩いて、防災面での地域の現状(課題と資源)を確認。

② 防災勉強会、他学区への見学会

課題解決に向けたまちづくりの手法を学びます。

③ 意見交換会

現状と課題を共有し、取り組みの方向性や危険箇所の解消に向けて話し合います。

④ 危険箇所の解消

京都市の制度を活用しながら、危険箇所を解消し、安全なまちにしましょう。

⑤ 防災まちづくり計画策定

今後の取り組み方針や危険箇所解消に向けた進め方をまとめます。

## 取組例 (京都市の支援制度あり)

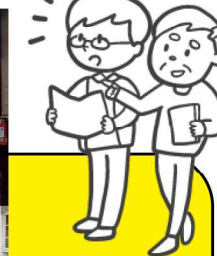


危険ブロック等改善事業



路地の奥から、安全に避難できるよう避難扉を設置

緊急避難経路整備事業



10月3日(土)  
第1回  
防災まちあるき  
開催!

## スケジュール (予定)

令和2年  
10月3日 第1回防災まちあるき  
(第1・3ブロック)

11月29日 第2回防災まちあるき  
(第2・5ブロック)

令和3年  
冬 第3回防災まちあるき  
(第4ブロック)

防災まちづくり計画策定  
ワークショップ・意見交換会  
(第1～5ブロック)

春 第4回防災まちあるき  
(第6ブロック)

夏 第5回防災まちあるき  
(第7・8ブロック)

秋 防災まちづくり計画策定  
ワークショップ・意見交換会  
(第6～8ブロック)

防災まちづくり計画策定  
に向けた話し合い

防災まちづくり計画策定

# 第1回 防災まちあるき開催！

10月3日（土）学区内の8つのブロックのうち、第1、第3ブロックを対象に防災まちあるきを行い、自治連合会、自主防災会、白川まちづくり協議会、そして、対象ブロックの町内会長など20名が参加しました。はじめに京都市から災害時に危険な「密集市街地」とその対策と助成制度についての説明を受けた後、2つのブロックにわかれてまちを点検。最後に、それぞれの点検結果を報告しあい、安全なまちづくりに向けた対策について話し合いました。



市から密集市街地の防災対策について説明

路地などまちを隅々まで確認

各ブロックから点検結果を報告

## 第1ブロック

栗田口鍛冶町、東小物座町、今道・東分木町、東町、中之町を順に歩き、行き止まり路地やブロック塀の危険箇所を確認し、避難経路などについて話し合いました。



## 第3ブロック

栗田口三条坊町東部・中部・西部、五軒町を順に歩き、過去の災害発生箇所、トンネル路地、避難経路、空き家、ゲストハウスなどを確認し、安全確保に向けて現地で話し合いました。



## 参加者アンケートからの主なご意見・ご感想

### 感想

- ・普段は、路地の奥までは入れないので、今日はよくわかりました。
- ・歩いて初めて危険なところや危険な場所などに目を向けることができた。
- ・地元の人が多いと情報が多くて、すごく理解できました。
- ・この学区で生まれ育ちましたが、知らないところも多く興味深かった。問題になるところがよくわかった。
- ・知らないところや危険なところを認識できてよかった、対策について共有できた。
- ・今まで気づかない危険な箇所が思ったよりも多かった。しっかり対策と改善を考えていきたい。
- ・わかっているつもりでしたが、説明を聞き、納得することができました。
- ・永く住んでいてもわからないことがあります。これからも参加して、災害などに備えたいと思います。

### 意見・アイデアなど

- ・参加人数がもっと増えることが大切だと思います。
- ・安心・安全なまちになるよう、少しでも力を出したい。
- ・災害も今後増えてくると思う。意識を高めて、今後に生かしていきたい。
- ・高齢者が多いので、街歩きはもう少しゆとりがあるとよい。
- ・継続的に今後も長く地道な取り組みを続けてほしい。
- ・具体的なイメージがわきやすくなるため、どんどんうまくいった事例を発表してほしい。